

「片手のなえた人の癒し」

§051 マコ3:1~6、**マタ12:9~14**、ルカ6:6~11

1. はじめに

(1) 口伝律法の中の安息日に関する論争が続いている。

- ①ベテスダの池での癒し(38年間病気だった人)
- ②麦の穂を摘んで食べた出来事
- ③片手のなえた人の癒し

*これ以降、迫害が殺意に変わる。

(2) 安息日に関する最近のニュース

■2012年6月

*世俗派の夫と正統派の妻が離婚した。妻は、元夫が子どもを預かる際に、子どもに安息日を守らせていないと裁判所に提訴したが、却下された。理由は、安息日に探偵を雇って証拠集めをしたのは安息日違反であると判断されたこと。

*安息日の車の運転の禁止を求めて、超正統派のユダヤ人たちが、エルサレムでデモ行った。道路を封鎖しようとして警官隊と衝突した彼らは、警察官に向かって「ナチス」と罵倒した。

■2012年7月

*ペレス大統領がロンドン五輪の開会式への出席を中止した。開会式は金曜の夜に行われたが、この時間帯は安息日と重なっていた。会場から「安息日の道のり」で行ける範囲に適切な宿泊施設がなかったため、この決断となった。「安息日の道のり」とは、2000キュービット(900m弱)である。

■2012年9月

*超正統派に対抗して、世俗的ユダヤ人たちがエルサレムでデモ行進をした。彼らは、安息日の公共交通機関運行を求め、「自由のある安息日を!」と叫んだ。左派政党のメレツがこれを支援した。

■2012年11月

*アッコにあるホームセンターが安息日の営業を決めたところ、それに反対する超正統派や正統派のユダヤ人たち数百人が、店の前で抗議活動を行った。

■ユダヤ教を土台に、民主主義国家を建設しようとしていることから来る葛藤

(3) **A. T. ロバートソンの調和表**

3度目の安息日論争：片手の萎えた人を安息日に癒したことについて (§51)

マコ3:1~6、マタ12:9~14、ルカ6:6~11

2. アウトライン (マタ 12 : 9~14)

- (1) パリサイ人たちの質問 (9~10 節)
- (2) イエスの回答 (11~12 節)
- (3) イエスの命令 (13 節)
- (4) パリサイ人たちの応答 (14 節)

3. メッセージのゴール

- (1) 「self-esteem」(自尊心、自負心、自己尊重) について
- (2) 「神のかたち」について

このメッセージは、人間の価値について考えようとするものである。

I. パリサイ人たちの質問 (9~10 節)

1. 9 節

「イエスはそこを去って、会堂に入られた」

(1) マタイは「their synagogue」としている。日本語訳には訳出されていない。

- ①会堂には、神の支配ではなく、パリサイ派の支配があった。
- ②イエスにとっては、アウェイの戦いである。

(2) マタ 23 : 38~39

「見なさい。あなたがたの家は荒れ果てたままに残される。あなたがたに告げます。
『祝福あれ。主の御名によって来られる方に』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません」

- ①神殿は「わたしの父の家」と呼ばれたが、ここでは「あなたがたの家」である。
- ②ユダヤ人たちがイエスをメシアとして歓迎するまでは再臨はない。

(3) 適用 : 私たちの集まりは、イエスにとってはホームかアウェイか。

2. 10 節

「そこに片手のなえた人がいた。そこで彼らはイエスに質問して『安息日にいやすのは正しいことでしょうか』と言った。イエスを訴えるためであった」

(1) 彼らは、イエスを訴えるために「片手のなえた人」をそこに置いた。

- ①ルカは、「右手のなえた人がいた」と書いている。
- ②監視の段階から、積極的に罾をしかける段階に進んでいる。

(2) パリサイ人たちは、2つの前提のもとに策略を練っている。

①イエスには、癒しを行う力がある。

*2000年後の私たちが、イエスの奇跡を否定するのは理に叶っているか。

②イエスには、安息日の律法を破ってでも癒しを行う憐みの心がある。

(3) 「安息日にいやすのは正しいことでしょうか」

①「安息日に病気を治すのは、律法で許されていますか」(新共同訳)

②現代のハラハー

*安息日に命を救うのは、義務である。

*重病の人を治療するのは、制限付きで許可される。

*その他の病気は、治療してはならない(薬を用意するのは労働である)。

③イエス時代でも、命にかかわる場合は治療してもよいとされていた。

④この病人の癒しは、昔の口伝律法でも現代のハラハーでも、許可されない。

II. イエスの回答 (11~12 節)

1. 11 節

「イエスは彼らに言われた。『あなたがたのうち、だれかが一匹の羊を持っていて、もしその羊が安息日に穴に落ちたら、それを引き上げてやらないでしょうか』」

(1) ラビ的教授法

①質問に対して質問で答える。

(2) パリサイ人たちは、安息日に羊を助けることを許可した。

①羊を襲ってくる獣を捕らえるために、穴が掘られていた。

②その穴に、家畜が落ちることがよくあった。

③この解釈は、モーセの律法の本質にも合致している(出23:4~5、申22:4)。

2. 12 節

「人間は羊より、はるかに値うちのあるものでしょう。それなら、安息日に良いことをすることは、正しいのです」

(1) ユダヤ的議論の方法 (qa1 vahomer とは「軽いと重い」という意味)

①「軽い」方は、羊の命である。

②「重い」方は、人間の命である。

(2) 安息日に人間を癒すのは良いことであり、律法に叶っている(許されている)。

①パリサイ人たちは、自分で掘った穴に落ち込んだ。

Ⅲ. イエスの命令 (13 節)

1. 13 節

「それから、イエスはその人に、『手を伸ばしなさい』と言われた。彼が手を伸ばすと、手は直って、もう一方の手と同じようになった」

(1) メッセージにおいて、メインテーマ以外の点から祝福を受けることがある。

①神の約束と人間の責務の関係

②38年間病気だった人：責任転嫁の姿勢から、自己責任の姿勢に変化した。

③彼は、床を取り上げて、歩き始めた。

(例話)「ヘブル人による福音」

「俺は石工でした。この両手で生活の糧を得ていました。イエス様、お願いします。2度と、恥を忍んで物乞いをしなくてもいいように、健康を回復させてください」

(2) ここでも、病人はイエスの命令に従った。

①質問や反論はなかった。

②従順と信仰が見える。

③パリサイ人に向かって手を伸ばしたと思いたい。

(3) 彼の右手は直り、左手と同じようになった。

Ⅳ. パリサイ人たちの応答 (14 節)

1. 14 節

「パリサイ人は出て行って、どのようにしてイエスを滅ぼそうかと相談した」

(1) 彼らは、イエスの論理に対して、また、イエスの恵みに対して心を閉ざした。

①怒りに満たされた。

(2) イエスに対する殺意を抱き始めた。

①マコ 3:6

「そこでパリサイ人たちは出て行って、すぐにヘロデ党の者たちといっしょになって、イエスをどのようにして葬り去ろうかと相談を始めた」

- ②パリサイ派は、政治的力を持っていなかった。
- ③政治的立場の違うヘロデ党の者たちと共闘の協議に入った。
 - *ヘロデ党は親ローマ、パリサイ派は反ローマである。
 - *「敵の敵は、友である」

結論：

1. 「self-esteem」(自尊心、自負心、自己尊重)について

(1) 「self-esteem」は大切な概念である。

①自らの存在意義を失っている時代

(2) 危険性は、他人が持っていないものを自分が持っていると考えること。

①誰が一番かを競うことになる。

②人間同士が孤立するようになる。

(例話) その危険性に警鐘を鳴らしたのが「世界にひとつだけの花」

花屋の店先に並んだ、いろんな花をみていた

ひとそれぞれ好みはあるけど、どれもみんなきれいだね

この中で誰が一番だなんて、争う事もしないで

バケツの中誇らしげに、しゃんと胸を張っている

それなのに僕ら人間は、どうしてこうも比べたがる？

一人一人違うのにその中で、一番になりたがる？

そうさ 僕らは、世界に一つだけの花

一人一人違う種を持つ、その花を咲かせることだけに

一生懸命になればいい

2. 「神のかたち」について

(1) 「self-esteem」から「God's esteem」への飛躍

①人間である限り、共通して持っているものに目をやる。

②人は、「神のかたち」に造られている。

③これは、人間同士のつながりを強くする。

(例話) ハンディを負った人に生きる権利はあるか(月刊紙 12/12月)

*ノース・フロリダ大学のクリス・ガバード博士の確信

*現代哲学者のピーター・シンガーの影響を多分に受けた。

*彼の息子は、出産の際に、脳に回復不可能な傷を負った。

*今も、脳性麻痺のために盲目で、肢体不自由の状態にある。

「誕生した息子を見て、私の心は揺れた。…それまでは、このような状態の新生児は、生かしておかない方がいいと考えていた。しかし、今日の前にいるのは、私の息子である。彼は、最先端の医療用保育器の中で眠っていた。…私を一番驚かせたのは、その子が私に似ていることであった。予想だにできなかった衝撃が、私を襲った。彼は、私が子ども時代の写真から抜け出て、そこにいるかのような顔をしていた」

*ガバード博士は、ハンディを負った新生児の尊厳を擁護する論客となった。

*2010年のギャラップ調査では、米国人の46%が、幫助自殺を容認している。
「そのような善良な市民の多くが、私の息子の苦難を終わらせてあげたいと思っている。しかし彼らは、私の息子が本当に苦しんでいるのかどうか、立ち止まって考えようとはしない。もちろん、彼が不快感を覚えることはたびたびあるが、唯一の痛みというのは、彼ではなく、周りの人たちが感じているものだ。彼らは、私の息子のような人間が存在しているという現実、耐えられないのだ」

*創造主である神は、「天の父」として「出来の悪い」私たちを愛しておられる。

(2) 旧約時代の「神のかたち」

①創1：26

「神は仰せられた。『さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配するように』」

②「かたち (image)」とは、ヘブル語で「ツェレム」である。

③他の動物にはない特徴

*善悪を選び取る能力 (道徳的存在である)

*被造世界を管理する能力 (被造世界の冠である)

*神を認識し、神を礼拝する能力 (霊的存在である)

④ペットブームによって、動物と人間の差が縮まってはならない。

⑤創造時の「神のかたち」は、完成形ではなく、その可能性を秘めたものである。

⑥墮落後は、「神のかたち」は曇ったが、破壊されたわけではない。

⑦詩8：3～5

「あなたの指のわざである天を見、あなたが整えられた月や星を見ますのに、人とは、何者なのでしょう。あなたがこれを心に留められるとは。人の子とは、何者なのでしょう。あなたがこれを顧みられるとは。あなたは、人を、神よりいっくらか劣るものとし、これに栄光と誉れの冠をかぶらせました」

(3) 新約時代の「神のかたち」

- ①単に、墮落によって失われたものを回復することではない。
- ②それ以上のものが与えられる。
- ③新生と聖化によって、信者は「キリストと同じかたち」に変えられていく。
- ④ロマ8：29～30

「なぜなら、神は、あらかじめ知っておられる人々を、御子のかたちと同じ姿に
あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの中で長子とな
られるためです。神はあらかじめ定めた人々をさらに召し、召した人々をさらに
義と認め、義と認めた人々にはさらに栄光をお与えになりました」

- ⑤2 コリ3：18

「私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させ
ながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これは
まさに、御霊なる主の働きによるのです」

(4) 安息日と「神のかたち」

- ①彼の右手は左手と同じようになった。
- ②彼は、他の人たちと同じようになった。
- ③50年目はヨベルの年と呼ばれた。

「あなたがたは第五十年目を聖別し、国中のすべての住民に解放を宣言する。こ
れはあなたがたのヨベルの年である。あなたがたはそれぞれ自分の所有地に帰り、
それぞれ自分の家族のもとに帰らなければならない」(レビ25：10)